

# TOKUYA TIMES

とくや  
タイムズ

豊  
流  
会

New

http://ito-tokuya.com/tokuya

伊藤 とくや

Summer, 2012, vol.21

## 本市における観光振興政策について



### 国、県を挙げて観光振興を図っている！

観光についての国県市の振興政策ですが、国は平成19年観光立国推進基本法を施行以来様々な取り組みをすすめ、「観光立国」の推進体制強化を図り、観光庁による「訪日外国人3000万人プログラム」82億9千万円、そのうちビジット・ジャパン事業49億2千7百万円が挙げられます。

東日本大震災後に激減している外国人観光客の回復のため、徹底的な風評被害対策を実施するなどしています。

また、経済産業省は「新成長戦略」に食、観光等文化産業を位置づけています。

### 本市における観光振興政策について

豊橋市が中核市に移行し、市政施行100周年を間近に控えた平成12年3月に、今後の観光への戦略的かつ体系的な枠組みを示す「交流」をキーワードとする「豊橋市観光基本計画」を策定しました。

計画の基本理念は「観光中核都市」の創造とし、着目すべき一筋は「全国レベルでの交流の輪の中で強い魅力を持ち、輝きを放つためには、周辺地域、特に東三河地域との一体的な連携にも注力していかなければならない。

東三河地域は伝統文化や自然などをはじめ豊かな交流資源があるため、こうした資源に磨きをかけ、ネットワーク化し、本市がそのホスト的な役割を持つことができれば、本市は100万都市に匹敵するだけの交流機能を持つこともでき、他地域との競争において優位に立つことができる。

地域間交流のパイプを持続的、かつ発展的に太くする仕掛けを、戦略的かつ計画的に進めたい。」とうたっていました。

「豊橋市観光基本計画」期間後、本市は新たな観光基本計画を策定せず、現在の観光についての基本的な考え方は平成23年度から平成27年度を計画期間とする豊橋市産業戦略プランに位置づけています。

最後に本市の観光についての現状ですが

■市内の観光レクリエーション利用者数は、近年横ばいで推移してきました。

■平成22年の利用者数は、多い方から豊橋総合動植物公園、豊橋まつりとなっています。

■市内の外国人宿泊者数は、近年増加傾向を示しており、一時経済不況の影響を受け外国人宿泊者が減少していましたが、中国人については宿泊者数が大幅に増加していました。

しかし、3.11により全ての観光客が激減、最近では少し持ち直してきたと仄聞しておりますが現在の円高は観光産業にとっても大変に深刻であります。

#### (1) 観光についての基本的な認識と対応について

(ア)本市の観光についてのこれまでの取り組みと他組織との連携について

(イ)観光の振興が本市へもたらす効果予測について

#### (2) 広域観光についての基本的な認識と対応について

(ア)国や県の動向への認識と対応について

(イ)近隣自治体や諸団体への認識と対応について  
伺う。

#### 産業部長

#### (1) 観光についての基本的な認識と対応について

(ア)本市の観光は、平成12年に策定した「豊橋市観光基本計画」に基づき実施、実現に努めてきました。その後、「豊橋市産業振興プラン」「豊橋市産業戦略プラン」を策定し、農工商の各産業を横軸で貫き、各産業を連携させることにより産業振興に結び付けるという位置づけの元に掲げた観光振興プログラムの推進に努めています。

また、「ええじゃないか豊橋推進計画」では、観光をシティプロモーションの主要なツールとして位置づけています。

他組織との連携ですが、主体となる市民や民間企業・団体との協力が不可欠であり、とりわけ、豊橋観光コンベンション協会とは、ソフト事業・ハード事業などの役割分担を行う中で、事業推進の両輪となって取り組んでいます。

(イ)観光は、人が動く、泊まる、食べる、物を買うなどの行為を伴い、これにより直接的・間接的に幅広い産業分野に関係することとなり、その振興は多くの産業を活性化させ、経済的な利益や新たな雇用の創出につながりますので、農工商がバランスよく発達した本市にとっての効果は相当なものであります。

また、市民に自信と誇りをもたらす、とりわけ次代を担う子供たちにとっては、豊かな人間性を育む糧になるとともに、人生の宝物になるものと期待しています。

#### (2) 広域観光についての基本的な認識と対応について

(ア)経済の低迷が続く中で、国においては、観光を国策の重要な柱に位置づけています。昨年は、東日本大震災の影響などにより国内外の観光客数が大きく落ち込みましたが、回復基調となった今年度からは、新しい観光立国推進基本計画により、観光客の満足度を高めるとともに、外国人観光客の誘致に一層力を注いでいくものと認識しています。

また、県においては、ものづくりや戦国武将など、この地域の特徴的な資源を活用した戦略的な観光施策を推進していますが、東三河県庁の設置により、東三河にも軸足を置いた施策展開がなされるものと期待しており、こうした動きと協調しながら、より効果的に観光施策を進めるよう努めます。

(イ)広域的なエリアとしては、東三河、三遠南信などがありますが、特に東三河では、8市町村の官民の観光関係団体による「東三河広域観光協議会」を組織し、グルメ・自然・祭りなどをテーマとしたイベント・事業や、観光物産展、観光誘致活動など毎年具体的な連携事業を展開しています。

東三河には、豊川稲荷やラグーナ蒲郡など全国的に知名度の高い観光施設があり、本市は東三河のリーダー都市として、広域観光を推進するため、各市町村の行政・観光関係団体との調整に努めてまいりたいと考えています。

# 東三河広域観光振興政策について

## (1) 観光についての基本的な認識と対応について

推進力となる本市と豊橋観光コンベンション協会が、課題、問題を解決しながら、同じ方向に向かうためにどのような仕組みがあるのかについて伺う。

## (2) 広域観光についての基本的な認識と対応について

平成24年度の東三河広域観光協議会定時総会に出席させていただいた。国会議員、県東三河総局長、県観光協会からは、「東三河は資源が沢山ある地域、しかし市町村ははじめ団体事業所等が個別にバラバラでは能力が生かせない。観光資源の宝庫であり、ポテンシャルが大変に高い地域である。内外に積極的にPRし、情報発信、イベント等しっかり支援していきたい。多様な変化に富んでいるなど、東三河の自然、歴史、文化、グルメなどの豊富な観光資源や可能性を高く評価する声があった。

その折、私の頭をよぎったのは、

■観光プロモーションというなら、観光向けのDVDをつくればいいのに・・・

■外国人を呼び込むならもっと域内在住の外国人による外国語での情報発信をすすめればいいのに・・・

■食を売るならフランスの「アペラシオン・ド・リジュー・コントロール 原産地統制呼称」に倣った、「東三河産地呼称管理制度」を制定すればいいのに・・・

■そしてかねてよりのおもいでである、東海道3名城のひとつ「吉田城」の活用や、東三河を主舞台とする宮城谷昌光の「風は山河より」の大河ドラマ化を目指すなどは県の武将観光にシンクロする施策だからもっと力を入れればいいのに・・・など広域観光のメリットについてです。

また、各市町の代表の発言のなかで最も注目したのが来年度の豊川市のB-1グランプリであり、2日間で50万人以上の来場者が期待されるこの大会を、豊川のみではなく東三河周辺都市と協力して地域おこしの起爆剤となれるような「まちづくりの大会」として成功させたいと述べていた。

さて、広域観光については、国・県とは協調しながら、近隣自治体との連携は東三河のリーダー都市としての役割を果たしながら東三河広域観光協議会を通して行っているということだが、現下の世界および国内の社会経済状況を鑑みると、観光客誘致における各国間の競争、そして各自治体間の競争は、ますます激化していくものと思われる。こうした中で、本市が生き残っていくためには、より身近で、かつ、歴史的・文化的につながりの深い東三河という広域圏を核に連携を深めていくしか道がないものと考えています。

折りしも、今年度から東三河県庁が発足し、県として、東三河の地域振興・観光振興に取り組もうとしています。

東三河県庁を含めた東三河の観光連携について、どのように認識し、対応しようとしているのかについて伺う。

(1)「豊橋市産業戦略プラン」「ええじゃないか豊橋推進計画」は、ともに行政だけの計画ではなく、行政と民間が共通理解の下、協同しながら進めていくべき計画で、定期的に、双方の職員による会合を開き、随時、事業実施の方向性の確認や実施後の課題の整理などを行い、より効果的な観光振興の推進に取り組んでいます。

(2)外国人観光客の誘致を含めた観光振興のためには、市単独ではなく、深いつながりを持ちつつ、個性的で豊富な観光資源を活用することができる東三河という広域圏でまとまらなければ、他の自治体との競争に打ち勝つことは難しく、東三河8市町村の官民共同体である東三河広域観光協議会の機能強化を図っていく必要があるものと認識していますが、これに東三河県庁との連携を加えることにより、その推進力が高まるものと期待しています。

東三河県庁では、今年度、東三河振興ビジョンを策定するということですが、来年秋には、豊川市でB-1グランプリが予定されており、このイベントは、東三河全体で取り組むべき大規模なもので、東三河の行政、民間、住民全体が、観光分野において同じ目標、同じ方向性を持って、国内のみならず海外をも視野に入れた広域観光戦略を展開する絶好の機会ととらえ、東三河県庁や他の市町村に対して、積極的に働きかけてまいりたいと考えています。

## 総括質問

私は東三河の広域観光を推進するにあたり「東三河観光基本計画」というようなマスタープランが必要だと考えます。

本年度、東三河県庁は東三河の観光ビジョンについての策定に入るとともに提案を求めており、今後は提案された個々の計画を支援することです。

なぜ個々に支援かといえば、それぞれの自治体が観光振興について個々にマネジメントしているからです。

現在、実質的に東三河全体の観光振興を図る横断的な組織・場は、任意団体である東三河広域観光協議会です。

しかし、協議会とは法人ではない制度で、8市の首長や諸団体の意見を広く聞き交換することはできますが、各自治体や観光関係諸団体、企業等をマネジメントするには至りません。

そこで、別法人の設立を要する仕組みである一部事務組合や広域連合を設置するという選択があがってくる。「観光」を事務とする別法人の設立は、東三河の各市町村の現状や今後の動向等を踏まえうえて、行政機関等の共同設置、事務委託制度の活用などが必要に応じて連携できる。

特に広域連合は、東三河の観光振興を図るための太い幹といえる計画、東三河観光基本計画というような計画(マスタープラン)を立案策定することができ、その計画について各自治体はじめ諸団体、企業等が連携してマネジメントすることができる。

市長の口からたびたび「東三河の広域連合を目指して」というコメントが聞かれる。広域連合は、特別地方公共団体、すなわち行政組織であり、民間とどう連携し、どう取り込むかというような課題はあるが、8市町村を統括するとともに、プラン策定、マネジメントなどの機能は極めて高いものと考えている。来年の豊川のB-1グランプリをはじめ広域観光のイベントは目白押しで、広域観光の重要性はますます高まっている。他の自治体との競争も待たなし。広域観光振興をすすめるにあたり、広域観光を適切にマネジメントし、推進していくためには「観光」を事務とした広域連合の設立が急務と考えますが、市長の所見について伺う。

## 佐原市長

広域連合は、様々な分野において各市町村の自主性を確保しながらも、相互に連携することでより大きな効果を生み出すことができるという特長があります。こうした点から考えますと、観光振興は、それぞれの市町村が持つ地域資源を活かしながらも、それらを有機的に結びつけることで、より大きな魅力を生み出すことのできる分野であり、まさに広域連合の事業に相応しいと考えています。

例えば、市町村単独では容易でなかった海外旅行客をターゲットとしたインバウンド観光、山から海まで多様な地形を活かした体験型観光、四季折々の自然や食を満喫できる周遊型観光など、新たな可能性が広がってきます。

東三河県庁では、まずは観光振興から取り組むと伺っています。また、東三河広域観光協議会はもとより、経済界でも東三河広域経済連合会を設立し、広域観光を取り組みの柱に掲げています。広域連合が、これら関係機関と協同しながらも、東三河地域における観光振興の中心的役割を果たす組織体として力を発揮できるよう、その実現に向けて、しっかりとリーダーシップを発揮していきたいと考えています。

## まとめ

観光広域連合は観光基本計画にうたわれていた「100万都市に匹敵するだけの交流機能を持つことができ、他地域との競争において優位に立つことができる」との約束を果たすこととなる。人口減少時代を迎える当地方が夢を持てる。私は佐原市長の東三河地域における観光振興の中心的役割を果たす組織体として力を発揮できるよう、広域連合の実現に向けて応援したいと思います。実現の際には、佐原市長がしっかりとリーダーシップを発揮していただきたい。

## “豊流会便り” & 編集後記

日本の国際競争力が急落してから久しい。日本は成長率の低下や対内直接投資の低迷などを映し「経済状況」が大幅に悪化。少子高齢化に伴う労働力人口の減少で「社会基盤」の評価も下がった。「政府の効率性」では財政赤字の膨張が足を引っ張った。「参議院社会保障・税特別委員会質疑」では、いくつもの疑問がわいた。まずは足元から、明るい未来を拓く地方自治を創めねば！

## 伊藤とくや市政報告会の御案内

松葉町カリオンビルにて

8月17日(金) 19時より

市政報告会を開催します

みなさま是非お越しください！

出張報告会大歓迎です。ご連絡下さい。

## 発行

伊藤とくや事務所  
豊橋市松葉町 3-68  
FAX : 0532-56-5521  
TEL : 0532-53-4556  
bbito@mx1.tees.ne.jp  
携帯 : 090-3855-9696